
福祉サービス第三者評価
評価結果報告書

社会福祉法人 真澄児童福祉会
深見台保育園

平成26年12月24日

株式会社 フィールズ

目次

評価結果総括

■ 評価方法	2
■ 総合評価	3
■ 評価領域ごとの特記事項	5
人権の尊重	
意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	
サービスマネジメントシステムの確立	
地域との交流、連携	
運営上の透明性の確保と継続性	
職員の資質向上	

分類別評価結果

■ 利用者（子ども本人）の尊重	7
■ サービスの実施内容	10
■ 地域支援機能	14
■ 開かれた運営	15
■ 人材育成、援助技術の向上	16
■ 経営管理	17

利用者本人調査

■ 利用者本人調査結果	18
-------------	----

家族アンケート結果

■ アンケートの概要	21
■ アンケート結果	22

事業者コメント

■ 事業者からのコメント	27
--------------	----

評価結果総括

法人名 社会福祉法人 真澄児童福祉会
事業所名 深見台保育園
施設長名 園長 都丸 里己

□ 評価方法

自己評価方法

実施期間 平成26年7月24日～平成26年9月25日
実施方法 職員全員が参加して評価を行い、施設としてまとめた。

評価調査員による評価方法

実施日 平成26年11月18日、平成26年11月25日
実施方法 評価調査者2名と事務局が2日間訪問し、施設の見学、資料確認及びヒアリング等で実施した。

利用者家族アンケート実施方法

実施期間 平成26年10月1日～平成26年10月18日
実施方法 保育園より利用者の全家族に配布し、返送は直接に評価機関に郵送してもらいました。

利用者本人調査方法

実施日 平成26年11月18日、平成26年11月25日
実施方法 評価調査者2名が保育園に訪問し、クラス見学、食事を通して観察にて行った。

□ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

【施設の概要】

大和市にある深見台保育園は、平成 25 年 4 月に大和市から社会福祉法人 真澄児童福祉会に移管された定員 120 名の保育園です。

小田急線・相鉄線の大和駅から徒歩 8 分の住宅街にあります。遊歩道に面した園庭は広さが十分にあり、子どもたちは毎日のように園庭で元気に遊んでいます。民間に移管前からの地域育児センター事業を継承して、地域の子育て支援の拠点として活動しています。

園の基本方針は、「子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします」「健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだを育つように、愛情と誠意をもった保育をします」「一人一人の成長の芽を大切にし、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育を大切にします」「子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い、子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します」「地域育児センターとして、関係機関との連携を図り、地域の子育てを支援します」としています。

《優れている点》

1. 経験豊富な職員が一人一人の成長の芽を大切にされた保育をしています

開設 2 年目ではありますが、法人系列の保育園で経験を積んだ職員や民間移管前から長く当園に勤務している経験豊かなベテラン非常勤職員が引き続いて勤務しています。職員は、子ども一人一人に配慮し、気持ちを受けとめる保育をしています。

特に乳児クラスでは、月齢に応じて 3 人ずつに分かれて食事のテーブルを囲み、職員が丁寧に言葉かけをしながら対応しています。遊びの場面でも、小グループに分かれてゆったりとした時間を過ごせるように配慮しています。皆と一緒に遊ぶときも、子どもたちは複数の職員の膝に次々に乗ったり、抱っこされたりして、安心して過ごしている様子がうかがえました。乳児期の安定した気持ちが、幼児期の自己肯定や他人への思いやりにつながる保育となっています。

2. 情報の共有と専門的なアドバイスを受けて、保育力の向上に取り組んでいます

園内で行われている、全体会議、給食会議、カリキュラム会議、乳児・幼児会議、クラス会議には職員全員が参加しています。会議では、様々な議題で意見交換やケース検討を行っています。会議で子どもの発達や状況等を共有し、大和市の巡回指導、専門機関の助言を受けて、どの職員も子ども一人一人に対して、同じ対応を行うことを心がけています。

また、外部研修にも年間計画を立てて積極的に職員を派遣しており、保育士の資質向上を図っています。今年度は、系列保育園との交流研修も行い他園の保育を学ぶことで、日頃の保育を見直し保育力の向上となっています。

3. 遊びや活動を子ども主体で行われるよう取り組んでいます

子どもの自由な発想を遊びや活動に取り入れています。絵本の「不思議の国のアリス」からお話を展開させて劇に作り上げたり、落ち葉に絵の具を付けて抽象画を描いたり、リトミックでは音楽を身体で表現するなど、子どもが興味や関心を持って取り組める活動を多く取り入れています。

園庭に作られた山では、乳児が登ったり降りたりを繰り返しています。職員は転ばないように気を付けながら降りている様子を暖かく見守っています。園庭で栽培した野菜は、野菜スタンプにしたり、絵を描いたり、調理をしてみんなで食べたり、保育の中に取り入れています。手作りのカプトムシハウスや廃材を利用した教材、乳児が裸足で出られるように、2階のテラスに敷き詰められた人工芝など、遊びや活動が子ども主体で行われるよう取り組んでいます。

《改善することが期待される事項》

1. 各種マニュアルの整備と職員への周知、業務の標準化を図ることが望まれます

衛生管理マニュアル、事故防止マニュアル、調理業務マニュアル等が作成され、事務室で管理され、いつでも確認することができます。しかし、マニュアルの見直し時期が不明確な状況のようです。マニュアル類の定期的な見直し、またマニュアル類は非常勤職員を含め職員全員に周知することも必要と思われます。

各種マニュアル類の整備とともに、業務の役割と責任を明確にして、その標準化に向けて取り組むことが期待されます。

2. 次代を担う人材を、計画的に育成する体制を整えることが期待されます

年間の研修計画を立てて、外部の研修に積極的に派遣して技術向上に取り組んでいます。系列の保育園で経験を積んだ職員や民間移管前から当園に勤務している経験豊かなベテラン非常勤職員が多く配置されており、系列の法人との交流保育を新たに取り入れています。

しかし、スーパーバイズできる主任クラスの育成については、今後の課題となっています。中堅職員の育成プログラムを作成して人材育成に取り組むことが期待されます。

3. 運営面での課題等を抽出し、方向性を定めた中長期計画の策定が望まれます

法の改正や保育についての情報等を収集して、会議等で周知を図っています。しかし、保育運営について話し合う機会が少なく、運営面での課題等の周知が徹底されていません。また、年間の事業計画は策定していますが、中長期計画の策定までに至っていません。民間移管から2年目を迎え、保育所としての方向性を定めるためにも組織の在り方を検討する仕組みや人材育成等の中長期的な計画策定が望まれます。

□ 評価領域ごとの特記事項

1. 人権の尊重

- ① 子どもの人格を尊重した保育を心がけています。日常の保育の場面や、ミーティング、全体会議で話し合い、子どもの気持ちを受けとめ、子どもの意欲を引き出せるようにしています。
- ② 守秘義務、個人情報保護や取り扱いについては、職員、実習生、ボランティアに口頭で説明をしています。画像を使用しリーフレットやインターネット上で園を紹介する場合には、子どもの顔がはっきり写らないよう配慮しています。個人情報に関する記録類は、事務所で施錠管理し、パソコン内の記録についても、主任、事務員のみ扱うこととしています。USB メモリについては、持ち出し禁止としています。
- ③ 虐待が疑われる場合は、大和市保育家庭課、児童相談所に連絡をして対応等について相談をしています。全体会議で周知に努め、朝夕の送迎時には、子どもの様子等を十分に観察し、保護者にはさりげなく声をかける等の保護者支援を行うことで虐待の予防に配慮しています。

2. 意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス

- ① 子どもがおもちゃや教材などを自分で選べるよう環境を整えています。子どもの自由な発想からごっこ遊びや集団遊び、活動につながるように工夫しています。異年齢交流では、高齢児の遊ぶ様子を見て順番やルールを学んでいます。子どもたちの好きな絵本から劇に発展させた活動では、発表会の披露に向けて子どもたちが自主的にセリフの練習をしています。
- ② 食事・睡眠・排泄については、一人一人の発達段階や状況を把握し、保護者と連携することを心がけています。家庭との連続性を大切にして、トイレトレーニングや離乳食は子どもと保護者に無理のないよう勧める配慮をしています。
- ③ 園庭で栽培した野菜は、保育の教材に使用したり、調理をしてみんなで食べています。散歩のときに集めた落ち葉で抽象画を描いたり、リトミックでは音楽を身体で表現したり、子どもが興味を持って取り組める活動を多く取り入れています。

3. サービスマネジメントシステムの確立

- ① 感染症対応・衛生管理・安全管理に関するマニュアルがあります。地域・行政・関係諸機関の連絡先がリスト化され、緊急時に対応できるよう事務室に用意してあります。
- ② 園庭の入り口は常時施錠されており、玄関はインターホンで確認をしてから開錠しています。防犯用カメラを2台設置し、警備会社とも契約しています。火災、地震、不審者侵入を想定した訓練を年間で計画し、実施しています。日時や設定を職員に知らせずに行う訓練も実施して、的確な行動がとれるように努めています。
- ③ 保育課程は、理念、保育方針、保育目標、食育目標、保健目標の記載欄があり、保護者に文書で渡して、理解を求めています。年間指導計画、週案には、評価・反省と振り返りの欄があり、日々の保育の見直しにつなげています。

- ④ 子どものケガについては、軽傷でも必ず保護者に説明し、日誌に記録しています。「事故及びヒヤリハット」報告書を各クラスのファイルに時系列で綴じて、分かりやすくしています。事故やけがにつながりそうな状況等をこまめに記録に残し、今後は事故を未然に防ぐために分析をしていく予定です。

4. 地域との交流・連携

- ① 地域に開かれた園として、積極的に近隣地域住民と交流の機会を作っています。近くの高齢者施設を5歳児が訪ねて定期的に交流をしています。地域の清掃活動に職員と一緒に参加することもあり、畑で育てたサツマイモを収穫したときは、地域住民の協力を得て焼き芋を作っています。
- ② 園庭開放などの地域育児支援事業の参加者に、園のリーフレットを配布しています。大和市役所のホームページ、「子育て支援情報サービスかながわ」のホームページ、地域子育て連絡会のリーフレットに園の情報が掲載されています。現在、園独自のパンフレットの作成と法人のホームページの開設に取り組んでいます。
- ③ 地域育児支援センターを民間に移管後も継続しており、地域の子育て支援の拠点としています。民生委員児童委員、地域の育児サークルと連携して、育児講座等を開催しています。しかし、地域の子育てニーズについて職員で話し合う機会が設けられていないため、専門機関としてニーズの把握、共有することが期待されます。

5. 運営上の透明性の確保と継続性

- ① 入園面談では、理念・保育方針の説明を行うとともに、保育時間、延長保育、持ち物、登園・降園時の注意事項等についても「入園のしおり」に基づいて説明をしています。
- ② 保護者との個人面談は年1回、クラス懇談会を年2回開催し、行事後にはアンケートを実施して意向等の把握に努めています。個別の連絡ノートや健康カードで家庭での様子を確認し、園での様子を知らせています。また、その日の活動の様子は、園内のボードに掲示し、クラスノートでも知らせる配慮をしています。
- ③ 年度初めに年間の行事計画予定を保護者に配布しています。園だより、クラスだより、給食だよりで行事の案内やクラスの様子、献立のレシピや旬の食材を使ったレシピを紹介しています。また、行事や特別な活動後には写真入りの情報を提供しています。

6. 職員の資質向上の促進

- ① 年間の研修計画を立てて、外部の研修に積極的に派遣しています。研修終了後は、報告書を提出して、全体会議で共有しています。研修計画のほか、職員から研修に参加したいとの要望が聞かれたときは、費用の一部を負担する等でスキルアップの支援を行っています。
- ② 職員を採用する際は、保育技術だけに目を向けるのではなく、保育の姿勢が真摯であり、受け答えがきちんとできる等を考慮しています。年1回、理事長、園長との面談を実施して、職員が自己評価し、次年度に向けての目標や意向を聞く機会を設けています。
- ③ 園の主任は2名が配置され、保育を行ううえで分からないことや判断に迷うときなどは、園長、主任に相談をしています。園長、主任は職員の顔色や表情などから体調等を読み取るように配慮しており、こまめに声をかけることを心がけています。

分類別評価結果 (および理由)

※ ひょう太マークは各項目において下記の水準をあらわしています。また、各項目ごとにひょう太の数の理由のコメントがあります
 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

I 利用者本人の尊重

I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成



- ① 社会福祉法人真澄児童福祉会深見台保育園の保育理念は、「一人一人の個性を尊重し、社会の一員として充実した人生を歩む基礎づくりをする」「子どもの心とからだ（生きる力）の基礎を育む」「子どもの最善の利益と福祉の増進」としています。
- ② 保育の基本方針は、「子どもの言動に意味のあることを知り、受け止め、共感する保育をします」「健康、安全な環境の中で、子どもの豊かな感性や健やかな心とからだが育つように、愛情と誠意をもった保育をします」「一人一人の成長の芽を大切に、遊ぶ楽しさや友達と一緒にいる喜びなどを感じられる保育をします」「子どもと保護者の置かれた状況や意向を受け止めながら、保護者と手を取り合い子育ての喜びや楽しさを共感しあえる保育を目指します」「地域育児センターとして関係機関と連携を図り、地域の子育てを支援します」としています。
- ③ 理念や保育方針については、分かりやすい言葉に変えて「入園のしおり」に載せています。また、全体会議でもしおりの確認を行う際に職員で周知をしています。保育課程については、理念、保育方針、保育目標、食育目標、保健目標を記載しています。作成にあたっては、全職員が関わるまでには至っていませんが、保護者には文書で渡し、理解を求めています。
- ④ 日々の活動や行事を行うときは、子どもが主体的に取り組めるよう指導計画には柔軟性を持たせています。子どもに遊びたい活動を開き、活動に取り入れたり遊びたい遊具で自由に遊んだりする様子が観察のときに確認することができました。また、コミュニティセンターを借りて行う発表会では、カスタネットやトライアングルなどの担当するパートを子どもからの意向を確認して決めています。

I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



- ① 入園前の全体説明会で理念・保育方針の説明を行い、保育時間、延長保育、持ち物、登園・降園時の注意事項等についても「入園のしおり」に基づいて説明をしています。その後、個別に面接を実施して、成育歴や家庭での様子等を聞き取り、個別票に残しています。個別票には、面接のときに気になったことなども残し、各クラスの担任に申し送りをしています。
- ② 新入園児の受け入れ初日は、保護者に付き添いを依頼し、昼食までの時間を園で一緒に過ごしてもらっています。慣らし保育については、保護者の意向と子どもの状況をみながら柔軟に対応し、子どもと保護者が安心できるよう配慮しています。
- ③ 0、1歳の新入園児に対しては、基本的には担任、担当保育士全員で関わりを持つようにしています。その年のクラスの状況に応じて個別担当をとるなど柔軟に対応し連携して保育を行っています。0、1、2歳児には、個別に連絡ノートで園での様子を保護者に知らせています。

- ④ 子どもの状況に応じて、柔軟な指導計画を作成しています。月1回のクラス会議で、指導計画の見直しを行い、必要に応じて変更をしています。また、行事や懇談会ときには保護者に向けてアンケートを行い、意向の把握に努めています。

I-3 快適な施設環境の確保



- ① 各クラスには、温湿度計が設置されており、季節に応じて空調設備等で適切な管理がされています。園庭に面した窓からは、陽光を十分取り入れることができ、二重サッシで防音対策がされています。園内・外とも清掃が行き届いており、玄関や階段には各クラスで制作した作品を飾り、季節感が感じられるように配慮しています。
- ② 0、1歳児クラスのある2階に沐浴設備があり、1、2階に温水シャワーが設置されています。用務の職員、充実保育士、非常勤保育士が木浴室等の共用部分の清掃を行い、各クラスの保育室は、担任が分担して清掃を行っています。年末には、子どもと一緒に掃除を行うこともあり、床のワックスかけも定期的に行っています。
- ③ 0歳児クラスの保育室は、畳のスペースとフローリングのスペース、食事をするスペースを分けています。また、0歳児クラスの保育室の前にカーペットを敷いて、子どもが遊べる空間を作っています。
- ④ 朝の受け入れの時間とお迎えの時間は、保育室にコーナー遊び等を設定して、子どもたちが自由に遊びを選択し行き来できるようにしています。日々の活動でも散歩等で交流する機会を多く持ち、一緒に歌を歌う等の異年齢交流が日常で取り入れられています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



- ① 0、1、2歳児と特別に配慮が必要なケースについては、個別指導計画を作成しています。個人面談の前に、保護者の意向や要望等を「面談記録票」に記入してもらい、面談のときに個別の課題・目標等について説明しています。
- ② 子どもの様子や家庭での様子は個人記録に残し、気になることなども別紙に記録しています。進級時には、子どもの成長発達記録とともに、伝達事項として伝えています。入学前には、保育所児童保育要録を小学校に送付して情報提供を行っています。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ① 大和市保育家庭課と連携し、配慮を要する子どもの受け入れも行っています。入園後に配慮が必要と思われるケースもあり、全体会議で共有するよう努めています。大和市の巡回指導の前には、事前に相談内容を出し合い、かかわり方や対応等についての話し合いをしています。
- ② 園の階段には手すりが2方向に設置されています。バリアフリーの設備はありませんが、スロープが設置されています。職員は、外部研修に積極的に参加して、障害児保育について学んでいます。
- ③ 日頃から、子どもと保護者の様子を把握し、虐待が疑われる場合は、大和市保育家庭課、児童相談所に連絡をして対応等について相談をしています。朝夕の送迎時に様子等を十分に観察し、個人面談で保護者から話を聴くことを心がけています。また、虐待が疑われる場合は全体会議で周知に努め、送迎のときにさりげなく声をかける等の保護者支援を行うことで虐待の予防に努めています。

- ④ アレルギー疾患のある子どもの食事は、医師からの診断書に基づき献立表が決定したあとに担任保育士と栄養士で除去食会議を行い対応について確認しています。配膳では専用のトレイを使用し、プレートを使いわかりやすくする工夫をし、クラスで提供する際にも声かけをして確認をしています。
- ⑤ 外国籍の保護者には、お便りや伝達事項等を口頭で伝える配慮をしています。口頭で伝えるほか、身振り手振りを交えて伝えることもあり、掲示物等も個別に対応しています。子どもには、絵本等の教材を通じて、様々な文化があることを分かりやすく知らせています。

I-6 苦情解決体制



- ① 園長、主任が、保護者からの要望や苦情の受け付け担当者になっています。玄関に意見箱を設置するほか、クラス懇談会や行事のときなどにアンケートを実施しています。また、第三者委員にも直接苦情を申し立てることができること等を載せた苦情解決制度についての説明を園内に掲示して保護者に知らせています。
- ② 法人で依頼している第三者委員を交えて、定期的に話し合いをしており、苦情等を受け付けたときは、速やかに対応するとともに、大和市に報告をする体制を整えています。行事後にはその他意見や要望記入欄を設けたアンケートを実施し、クラス懇談会、個人面談等でも意見や要望を言いやすい環境を作ることに努めています。

Ⅱ サービスの実施内容

Ⅱ-1 保育内容【遊び】



- ① 乳児クラスのおもちゃは、安全面に配慮しながら職員が用意したものを自由に選んだり、低い棚のおもちゃ箱から取り出したりできるようにしています。幼児クラスでは、絵本、ブロック類、ぬいぐるみ、パズル、ままごとなど低い棚や収納タンスの引出しから自由に取り出して遊ぶよう設定しています。自由遊びの時間では、敷物や低い衝立、机などでコーナーを作り、少人数で遊んだり、遊び込めるよう工夫をしています。特に4、5歳児クラスでは、9時までの時間で様々な遊びのコーナーを設けて「異年齢交流カリキュラム」として自由に保育室間を行き来できるよう設定しています。
- ② 子どもの自由な発想が、ごっこ遊びや集団遊びにつながるよう活動に取り入れています。5歳児クラスでは、絵本の「不思議の国のアリス」からお話を展開させて、生活発表会で劇として披露する予定です。また、異年齢交流も日常の活動に取り入れており、年長児との合同保育や異年齢での集団遊びの中で、順番を守ることや遊びのルールを自然に学んでいます。
- ③ 園庭でナス、キュウリ、トマト、人参、大根、イチゴなどを栽培し、収穫した野菜は保育の教材として使用したり、調理をしてみんなで食べています。近隣の畑を借りてサツマイモの栽培もしています。出来たサツマイモは地域住民と焼き芋にしておいしく食べています。園庭には、職員が手作りしたカブトムシハウスがあり、たくさんの卵のふ化を楽しみにしています。また、近隣には多くの公園や遊歩道があり、四季折々の自然に触れる機会を設けています。散歩の途中で出会った地域の方々とは、挨拶を交わし、公園で一緒になった親子連れや他の保育園の子どもたちと交流することもあり、子どもたちが様々な体験ができるよう、園外活動を積極的に取り入れています。
- ④ 色画用紙、クレヨン、色鉛筆などの筆記具類のほか、粘土や廃材を再利用したものなどを使って、季節や行事にちなんだ絵、モビールなどが廊下や階段、保育室に飾られています。音楽を取り入れた活動では、カスタネット、鈴、木琴、太鼓、ピアノを演奏したり季節の歌をみんなで歌ったり、音楽に合わせてリズムをとったりしています。また、毎月コミュニティセンターを借りて4、5歳児が合同でリトミックを行っています。
- ⑤ 子ども同士のトラブルについては、年齢や安全面に配慮しています。ときには自分たちで解決できるよう見守ったり、自分の言葉で表現できるよう促したり、子どもの気持ちや言い分をじっくり受けとめながら、お互いの気持ちが分かり合えるよう職員が援助しています。
- ⑥ 天気が良いときは、毎日園庭で元気に遊んでいます。0、1歳児クラスのある2階には、人工芝を敷いた広いテラスがあり、日光浴やプール遊びのときに利用しています。室内でも、はしごをくぐる、マットで作った山をよじ登る、巧技台などで身体を動かして遊ぶなど動きのある活動を多く取り入れています。4、5歳児は、月に1回リトミックを保育カリキュラムに取り入れています。近隣には大小さまざまな公園があり、活動の目的に応じて利用しています。体調がすぐれないときや病欠後に登園したときなど、散歩や外遊び等の園外活動に参加しない場合は、室内で静かに過ごせるよう個別に対応しています。

II-1 保育内容【生活】



- ① 食事は子どものペースや食べられる量を把握して、マナーを守りみんなで楽しく食べられるよう声かけや援助をしています。特に0歳児クラスでは、月齢や生活のリズムに配慮した小グループ（3人ずつ）に分かれて、職員が丁寧に言葉かけをしながら対応しています。園庭や畑で栽培した野菜は、収穫後に教材として使用したり、観察をしたあとにクッキング保育で調理をして自分たちで育てた野菜をおいしく食べています。栽培や観察、調理を通して、苦手だった野菜が食べられるようになった子どももいます。
- ② 給食は旬の食材を取り入れ、彩りよく盛り付けがされています。野菜・肉・魚類は近隣の決まった商店から仕入れ、国産の食材を毎日使用する分量だけを購入しています。食器は低年齢児クラスでは磁器を、幼児クラスではプラスチックを使用しています。年齢に合わせて皿の大きさを変え、スプーン・フォーク・箸を発達段階に応じて使用しています。
- ③ 職員・栄養士・調理職員が喫食状況を日々確認しています。月に一度の給食会議で、献立作成や改善について話し合いをしています。毎月末に翌月の献立表を保護者に配付しています。給食、おやつサンプルは玄関に提示し、献立のレシピを写真にしてファイリングしたカードも添えて、保護者に知らせています。また、旬の食べ物や行事食、季節を感じられる料理レシピを載せた「給食だより」を毎月配付しています。保育参加・参観のときには、保護者に給食の試食をしてもらう配慮をしています。
- ④ 眠れない子どもには、午睡を強要せず横になって静かに過ごし、身体を休めるように伝えています。乳児の午睡のときは、5分おきにブレスチェックをして「午睡チェック表」に記録しています。午睡中は寝ている姿勢や咳が出る子どもに配慮しています。5歳児は、年明けから午睡を一斉活動とせず、就学に向けて生活リズムを整えるようにしています。
- ⑤ トイレトレーニングは、排便状況を保護者に伝える等の連携を取りながら、一人一人の発達状況に合わせて、子どもへの負担がないように進めています。

II-2 健康管理・衛生管理・安全管理【健康管理】



- ① 0、1歳児は年間を通して、2歳児は9月まで「連絡帳」を使用しています。3、4、5歳児は「健康カード」を使用し、それぞれ子どもの体調等を確認しています。既往症や予防接種についても保護者と連携を取り、記録に残しています。食後の歯みがきは、2歳後半頃より始め、仕上げ磨きは5歳児まで行っています。健康に関するマニュアルは作成されていますが、定期的に見直す等の整備が期待されます。
- ② 健康診断、歯科検診は年2回実施しています。健診の結果や毎月測定する身長・体重の記録を記載し、個別のファイルに綴じています。
- ③ 「感染症の対応マニュアル」があります。感染症発生時には、速やかに園内掲示板で情報提供をしています。感染症に関する最新の情報は、大和市保健福祉センター、近隣の小学校等から情報提供があり、朝のミーティング等で共有しています。食事前には、子ども、職員とも手洗いと消毒を行っています。盛り付けや配膳をする職員は、エプロン、三角巾、マスクを付けてから行っています。嘔吐物処理セットを各保育室にセットしています。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【衛生管理】



- ① 「衛生管理マニュアル」があります。園内・外の共用部分の清掃は、用務の職員、充実保育士で分担して行い、それぞれ用務日誌、充実保育士日誌に記録しています。保育室の清掃は担任が行っており、保育日誌内に記録しています。マニュアルについては内容が最新の知識、情報に基づいたものとなるように時期を決めた見直しが望まれます。

Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理【安全管理】



- ① 「事故防止マニュアル」があり、事務室内で常に確認できるようになっています。地震等に備え、つっぱり棒やすべり止めシート、L字金具などで家具の転倒を防ぐ対策をしています。棚などの上に備品を置くなど、一部不十分な面も見られました。安全対策のさらなる強化が期待されます。
- ② 緊急連絡体制が確立されており、事務所に医療機関、地域の消防、警察、行政機関、大和市内の保育園、学校等の連絡先一覧表が用意されています。年間計画に基づき、毎月様々な設定で避難訓練を行っています。避難訓練の際は、職員に知らせずに実施する場合もあり、的確な行動が常にとれるようにしています。実際に地震の揺れがあった時にも、迅速な対応ができています。救急救命法を身に付けた職員がおり、今後も順次受講していく予定です。
- ③ ケガについては軽傷でも必ず保護者に説明し、日誌に記録しています。「事故及びヒヤリハット」の記録のみならず、事故、ケガにつながりそうな状況、対応等もこまめに記録に残し、分析を進める予定です。
- ④ 園に2か所防犯カメラを設置し、警備会社とも契約しています。園庭入り口は常に施錠されており、園玄関はインターホンで確認しています。不審者対応については、合言葉を決めて迅速に対応できるように不審者侵入を想定した訓練も行っています。不審者情報や防犯情報は大和市の警察署、教育委員会から連絡があり、大和市保育家庭課からもファクスが送られてきます。職員には、その都度周知しているほか、保護者用の掲示板にも貼り出しています。

Ⅱ-3 人権の尊重



- ① 子どもの人格を尊重し、言葉かけや接遇、対応については就業規則に明記しています。日常保育の中で職員の気になる場面や対応が見られた場合は園長・主任が注意や指導をしています。空いている保育室や廊下などを使い、子どもと一対一で話し合える機会を大切にしています。
- ② 個人情報に関する記録・書類は事務所に施錠管理しています。記録記入は事務室、保育室、職員休憩室で行っています。パソコン上の記録は主任・事務職員が管理しています。守秘義務や個人情報取り扱いについては職員、ボランティア、実習生に口頭で伝えています。個人情報取り扱いについてのガイドラインは現在作成中です。今後、職員に配付し、周知を図るとともに保護者への説明も行うことが望まれます。
- ③ 遊びや順番、持ち物などで男女の区別はしていません。性差による固定観念で区別していないかなどはクラス担当内や個々の振り返りの中で行っています。意識や共有をより深める機会として今後は研修等で啓発するなどの取組みも期待されます。

Ⅱ-4 保護者との交流・連携



- ① 入園時の面接や年度初めの懇談会で、保護者に保育の基本方針を説明しています。園だよりやクラスだよりでも、方針に沿った保育内容について丁寧に説明し理解を求めています。保護者向けに、行事後のアンケートを実施して意向の把握に努めています。
- ② 保護者との日常的な情報交換は、2歳児後半まで個別連絡ノートを使用しています。また、その日の子どもの様子は、園内のボードやクラスノートで伝えています。担任が口頭でも個別のエビ

ソードを伝えるように努めています。

- ③ 保護者との個人面談は年に一度実施していますが、希望により随時対応しています。クラス懇談会は年に2回開催し、園での様子や活動の様子を映像で伝えています。保護者からの相談は、空いている保育室等で行うなどプライバシーに配慮しています。相談内容により、園長が同席しています。全体会議や朝ミーティング、「動向表（業務連絡表）」で情報共有をしています。保護者組織はありませんが、保護者の自主的な活動や要望が聞かれたときには、積極的に関わりが持てるよう配慮しています。
- ④ 年度初めに、年間の行事計画予定を保護者に配付しています。園だよりでも、行事の詳細や日程を案内しています。保育参観は、随時受け付けています。乳児クラスの保育参加では、個別に日程を設けており、同日に個人面談や栄養士との話し合いも行っています。その際は、子どもの食事の席に同席して、給食の試食もできるよう配慮しています。また、幼児クラスでも希望があれば随時受け付けています。

Ⅲ 地域支援機能

Ⅲ-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



- ① 地域子育て支援センターとしての活動として、地域の親子に向けて週1回の園庭開放「あそぼう会」のほか、0、1、2歳児が対象の「たべよう会」、土曜日の「お父さんと一緒にあそぼう会」、一時保育等を行っています。その他にも、「育児ひろば みんなおいで」、「おひさまサロン」、育児講座も定期的に行っています。
- ② 地域の公園やコミュニティセンター等で開催する育児講座や離乳食講座、出張保育講座を行っています。「おひさまサロン」では、保育士が近隣の公園に行き、砂遊びや手遊びを教えたり育児の相談を受けたりしています。また、民生委員児童委員や地域の育児サークルに協力して談み聞かせ、リズム体操、手作りのおもちゃ作り、パネルシアター等を行っています。大和市が開催する「やまとげんきっこアートフェスティバル」に5歳児の作品を展示したり、「子育て応援フェスタ」では準備委員から参加し、当日は手作りおもちゃを持参して、見学に訪れた親子に実際に遊んでもらっています。
- ③ 園庭開放、育児講座等の開催や民生委員児童委員、地域の育児サークルとの連携がされており、民間に移管してからも継続して活動を行っています。しかし、地域の子育て支援ニーズについて、職員で話し合う機会が少なく、共有までには至っていません。今後は更なる地域の子育てニーズの把握と、情報共有の機会を持つことに期待します。

Ⅲ-2 保育園の専門性を活かした相談機能



- ① 毎週月曜日から土曜日まで、育児相談を受け付けています。園庭開放や育児講座等でも相談を受けています。子育て支援活動の日程や開催場所等を載せた「深見大和地域子育て活動マップ」を作成して、大和市保育家庭課等に配布しています。また、園の掲示版にも開催のお知らせを掲示しています。
- ② 地域の関係機関・団体等を一覧にしたリストを作成しています。関係機関への連絡、連携は園長が担当しています。地域の自治会代表、関係機関、団体等には、園の行事の案内を載せたお知らせを配布しています。

IV 開かれた運営

IV-1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



- ① 地域に開かれた園として、積極的に交流の機会を作っています。七夕、運動会、お餅つきなどの行事に地域の方々や卒園生を招待しています。近隣の中学、高校の「職業体験」を積極的に受け入れています。夏休みの期間には、小学校教員が保育体験を行っています。保育所児童保育要録は、就学予定小学校に持参し、特別な引き継ぎ事項がある場合は小学校教員が保育園を訪れ、綿密な引き継ぎをする体制を整えています。
- ② 大和スポーツセンターを利用した活動を取り入れたり、こどもの国、水族館などに遠足に行ったり、地域の施設や社会資源を活用しています。年長児クラスは、年に2回ほど近隣の高齢者施設を訪問して、歌を一緒に歌うなどの世代間交流をしています。また、地域清掃にも子どもと職員が参加しています。
- ③ 七夕の笹は、近隣の保育園と一緒に準備をしています。年明けには、近隣の神社に初詣に行っています。大和市が開催する「やまとげんきこアートフェスティバル」では、イオンモール大和ホールで、5歳児の作品を展示しています。また、地域で行われる行事や催事案内のパンフレット等を園内に掲示しています。保護者には、配付をして知らせています。

IV-2 サービス内容等に関する情報提供



- ① サービス内容に関する情報は、大和市のホームページに掲載されています。地域育児支援事業「あそぼう会」、「わくわくタイム」、「園庭開放」などを載せたリーフレットを参加者に配布しています。出張育児講座等の参加者にも、リーフレットを渡す等で更に周知に努めることに期待します。園の新しいパンフレットの作成と法人のホームページ開設を予定しています。
- ② 神奈川県内の子ども・子育て情報サイト「子育て支援情報サービスかながわ」や、「地域子育て連絡会」のリーフレットで園の情報を確認することができます。
- ③ 利用希望等の問い合わせには、見学ができることを必ず伝えていきます。保育に支障のない時間帯で希望者の都合や内容に応じて、園長、主任が案内をしています。

IV-3 ボランティア・実習の受け入れ



- ① ボランティアの受け入れについては、充実保育士が担当しています。受け入れの日程等については、全体会議や朝のミーティングで職員に知らせています。中学生の吹奏楽演奏のボランティアなどの実績があり、参加後に感想や意見などを書いてもらっていますが、ボランティア受け入れマニュアルが作成されていないため、今後期待します。
- ② 実習生の受け入れについては、園長・主任が担当しています。受け入れの日程等については、全体会議や朝のミーティングで職員に知らせています。保護者には、園だよりで知らせています。湘北短期大学、町田福祉保育専門学校、和泉短期大学などから多数の実習生を積極的に受け入れています。実習プログラムは、学校、本人と話し合い、実習の目的に合わせて効果的に学べるように配慮しています。今後は実習生受け入れについて担当者以外でも手順などが理解できるマニュアル等を整備されることが望まれます。

V 人材育成・援助技術の向上

V-1 職員の人材育成



- ① 職員を採用する際は、保育技術だけに目を向けるのではなく、保育の姿勢が真摯であり、受け答えがきちんとできる等を考慮しています。人材育成、資質向上に向けて法人で育成計画を立てており、系列の保育園に保育士を派遣する交流保育で他園の保育を学ぶ機会を提供しています。
- ② 年間の研修計画を立てて、外部の研修に積極的に派遣しています。年間研修計画のほかに、職員から研修に参加したいとの要望が聞かれたときは、費用を一部負担する等でスキルアップの支援を行っています。研修後は研修報告書を提出して、全体会議で共有をしています。
- ③ 管理規定を業務マニュアルとしており、事務室に保管していつでも確認することができます。非常勤職員は保育士としての経験が豊富なベテランの保育士が多数在籍しています。配置については、常勤職員のフォローとして入る場合や朝夕の決まった時間に入る等の配慮をし、クラス担当と連携し子どもの状況に応じた保育を行っています。全体会議は一部の非常勤職員の出席が無い場合もあります。今後は、出席できなかった非常勤職員への会議内容の伝達方法や非常勤職員が出席できる会議の開催など、非常勤職員のより一層のスキルアップにつながる工夫が期待されます。

V-2 職員の技術の向上



- ① 年1回、理事長、園長との面談を実施して、職員が自己の評価、次年度に向けての目標や意向を聞く機会となっています。また、園内研修も定期的の実施しており、技術向上に取り組んでいます。大和市の定期巡回指導で保育の技術の評価・指導を受けています。また、配慮が必要な子どもへの支援として、専門機関の定期訪問を申請し、対応等について助言を受けています。
- ② 月案、週案に保育の振り返り・評価欄を設けて日々の保育の振り返り・評価を行っています。自己評価や計画記録の書式の整備と共に職員一人一人の自己評価の実施を進め今後のサービスの向上につなげることに期待します。
- ③ 民間に移管後、1年目には大和市の保護者アンケートを実施して、事業所の自己評価としています。アンケート結果については、保護者に配布しています。今後は、第三者評価の評価項目に沿って自己評価を実施していく予定です。

V-3 職員のモチベーションの維持



- ① 理事長、園長との個別面談で、職員からの意見・提案を聞く機会を設けています。意見や提案が聞かれたときは、全体会議で改善や取り組み等を伝えています。
- ② 年間指導計画は、クラス会議で話し合いをしたうえで作成しています。作成した指導計画は園長、主任が確認し、必要に応じて指導をしています。業務において、判断に迷うときには自己判断はしないように指導しており、園長、主任へ相談し、それに対し適切な助言をしています。
- ③ 組織図や業務分掌規程等は作成していませんが、役割については口頭で伝えています。職員が臨機応変に対応できる体制を整えるために役割を明文化し、責任の所在を明らかにしていくことが期待されます。

VI 経営管理

VI-1 経営における社会的責任



- ① 守るべき法・規範・倫理等については、就業規則に明文化されています。不適切な事案等の情報を把握したときは、朝のミーティングで周知を図っています。
- ② 大和市のホームページで深見台保育園の概要を確認することができます。現在、法人のホームページの作成に取り組んでおり、経営、運営状況等の情報をホームページで公開する予定です。
- ③ ゴミの減量化に努め、保育室のゴミは分別をしています。子どもが手を洗うときは、水を出したままで行わないように伝え、カタログ雑誌や新聞広告などは教材として再利用しています。園内の電球はLED電球を使用しています。保護者にリサイクル品の提供をお願いして行う「とりかエコ」を毎年開催しています。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ① 理念、保育方針、保育目標は、「入園のしおり」の見直しの際に、職員に周知しています。クラス懇談会のときに、保護者への周知を図るとともに職員が再度確認する機会にもなっています。理念や保育方針は理解を確証する機会として、年度初めの全体会議など話し合いの場を持つことが期待されます。
- ② 民間に移管するときに、2年間はサービス内容を変更しないことを取り決めています。変更する際は、保護者、大和市、法人の三者会議で検討をします。例えば、午睡用の布団は、週末に保護者が持ち帰っていましたが、布団乾燥の業者に委託することを三者会議で検討後、懇談会で説明をして、保護者から同意を得たうえで決定の文書を配布しています。
- ③ 主任が2名配置されています。職員は、業務を行ううえで分からないことがあるときは園長、主任に相談しています。園長、主任は、職員の顔色や表情等から職員の体調不良などを読み取るように努め、こまめに声をかけることを心がけています。スーパーバイズできる主任クラスの育成を今後の課題として、育成プログラム等の作成を検討しています。

VI-3 効率的な運営



- ① 大和市の説明会、勉強会に参加して、法の改正や保育についての情報等を収集しています。収集した情報は、全体会議で職員に周知を図っています。
- ② 常勤職員が参加して行う全体会議やクラス会議、幼児・乳児会議を開催して、保育、活動、ケース等についての話し合いが行われています。業務や運営についても職員から意見や提案を募る等の取り組みに期待します。
- ③ 運営に関する専門的な助言等については、社会保険労務士からアドバイスを受けています。年間の事業計画は作成されていますが、中長期計画は作成されていません。民間に移管して2年目を迎え、組織の在り方を検討する仕組みや次代を担うスーパーバイザーの育成等の中長期的な計画作成が望まれます。

利用者本人調査

□ 調査対象

園全体の在籍数：

0歳児クラス：14名	1歳児クラス：16名	2歳児クラス：20名
3歳児クラス：20名	4歳児クラス：20名	5歳児クラス：25名

□ 調査概要

《0歳児クラス》

0歳クラスでは、保育室内を衝立や柵などで3つに区切り、寝る場所、遊ぶ場所、食事の場所と区別しています。

調査日に保護者との個別面談が行われており、面談後には保育参加をしていました。面談のときには、両親からの質問に職員が丁寧に答えていました。

複数の職員が、子ども達一人一人と丁寧にゆったりと関わっています。絵本をばらばらめくっている子に「なんだろうね」と話しかけたり、職員の膝に乗って絵本を読んでもらったりしている子がいます。ぬいぐるみで遊んでいる子や低い柵につかまり立ちしている子、伝い歩きをしている子も他の職員から声をかけられ、近寄ってきました。子どもたちは、それぞれ職員に次々に、抱っこしてもらったり、手を繋いでもらったりと、どの子も穏やかな表情で遊んでいました。

食事のテーブルは、月齢や発達に応じてグループを決めています。職員は、「次はこれを食べようかな」「おいしいね」「もぐもぐ上手だね」など話しかけながら、子どものペースに合わせて支援して行きました。子どもたちも次に食べたいものを指差したり、手づかみで食べたりと食欲旺盛です。保育参加に来ていた両親も、一緒にテーブルについて、子どもたちと同じものを味見させてもらっていました。「素材の味がするね」「これくらいの量で良いんですね」など、職員と話していました。

《1歳児クラス》

1歳児クラスの保育室は、大きな仕切りがなく、畳のスペースとフローリングのスペースに分かれています。保育室は広く、窓から入る日差しも多く、暖かい雰囲気を感じられます。

登園してきた子どもが、職員のところを走っていくと職員は「おはよう」と声をかけていました。その後、職員と保護者が畳のスペースと一緒に座り、健康カードを確認しながら家での様子を聞いています。先に登園していた子どもたちはエプロンを付けて、ぬいぐるみをおんぶしています。畳のスペースで、職員と一緒にブロックで遊んでいる子どももいます。4名の職員が配置されており、広さが十分にあるスペースで、子どもたちは職員の膝に座って甘えたり、ぬいぐるみを持って元気に走ったりしながら思い思いに遊んでいました。

保育室の隣にはトイレが設置されており、畳のスペースにタオルを敷いて、トイレに行く準備をしています。

《2 歳児クラス》

牛乳パックを利用して、自分たちで作った「どんぐりケース」を、一人一人首にかけて張り切って散歩に出かけました。公園では「遊具を使うときは先生と一緒に」「小さい子も遊んでいるので周りを良く見る」「お集まりする場所」を職員と約束してから自由に遊び始めました。かけっこや鬼ごっこをしたり、きれいな落葉を集めて「どんぐりケース」にそっと入れたり、葉っぱを沢山集めて、放り投げて遊んでいます。大きな葉っぱに穴をあけて、「お化けだ、お化けだ」と追いかけてごっこを始める子どももいます。枝をつり竿に、落ち葉をお魚に見立てて「お魚つれたよ～」と言っている子がいます。「滑り台やりたい」「ブランコしたいので一緒に来てください」「うんていに挑戦する」と子どもたちは元気に遊んでいました。

しばらく遊んだあとに、0歳クラスのお友だち数人がバギーで公園に来ました。今日は園で行っている地域支援事業「おひさまサロン」の日です。シートを敷きはじめると、公園で遊んでいた子どもたちが「先生のお話一緒に聞きたい」と座っています。公園に来ていた地域の親子連れも何組が集まってきました。ベビーカーに乗った小さいお友だちもいます。0歳クラスの職員が、お話やペープサートを始めると皆、楽しそうに職員の問いに答えたり、見入ったりしていました。

《3 歳児クラス》

保育室のテーブルを使い、遊びのコーナーを4つ作っています。ブロックやお絵かき、絵本など、子どもたちはそれぞれ好きなコーナーで遊んでいます。自由遊びの時間が終わると、職員のピアノ演奏に合わせて歌を歌っています。子どもたちは大きな声で、元気よく歌っています。歌っているときは、ピアノを弾いている職員のほうに身体を向けて座っています。立ち上がったたり、落ち着きのなく動いたりする子はいません。

保育室の棚には、自由遊びのときの作りかけのブロックが置いてあります。その日に完成できなかったものは、そのまま翌日に持ち越して完成させて達成感を感じています。4～5名のグループで食事をします。配膳された食事を残す子はいません。みんな箸を上手に使って食べています。食事が終わると、食器を片付け歯磨きをしています。歯ブラシを口に入れたまま歩いている子どもに、職員が「あぶないから歩かないでね」と優しく声をかけていました。

《4 歳児クラス》

自由遊びのあとは、朝の会がはじまります。「今日の朝、みんな朝ごはんをちゃんと食べたかな？ どんなことがあったかな？」と職員が聞くと、「お天気悪い」「ごはん食べた」「寝坊したから、食べてこなかった」「地震があった」「随分揺れたよ」と次々に答えています。恥ずかしがり屋なのか、小さい声の子には職員が近づいてゆっくり聞いています。

お当番が前に並ぶと、職員が紹介をしていました。お当番の子どもたちは、照れたような、ほこらしいような表情です。お当番は調理室行って、棚に並べられている給食を保育室まで運びます。お茶は子どもたちが自分でコップに注ぎ、汁物や主食は職員が盛り付けをします。配膳が終わると、お当番が前に出てメニューの紹介をします。みんなで「いただきます」の挨拶をしてから食事を始めています。「お野菜沢山食べて偉いね」「おしゃべりも楽しいけど、ごはんもしっかり食べようね」など、職員が声かけしています。「おつゆおいしいよ。食べてごらん」の言葉に「おいしいから最後に飲むの」と答える子がいました。

《5 歳児クラス》

今日は発表会の練習です。それぞれの役に合わせてグループがあり、子どもたちは表情豊かにセリフを言っています。練習が終わるころには、舞台の上で最後の挨拶の練習です。2列に並んだ子どもたちは、舞台の弾幕が引かれるまで、背筋を伸ばしています。練習が終わると、台本に書かれている自分のセリフのところ、マーカーで印を付けている子どもがいました。自主的に練習をしている子どももいます。

片付けが終わると、給食の時間です。お当番の子どもは、エプロンと帽子を付けて、手洗いのあとに手の消毒を済ませると、テーブルを拭き始めています。練習からの切り替えが早く、職員が声をかける前に準備を始めています。汁物をこぼしてしまった子どもが、汚れた服を着替えている間に、他の子どもが床を拭いています。困っている友達を手伝う優しさを感じる場面が観察できました。

家族アンケート結果

□ アンケートの概要

1. 調査対象

利用者の全家族

2. 調査方法

アンケートは評価機関で準備をして保育園から配布してもらいました。回答は家族から郵送にて直接に評価機関に送っていただきました。

3. アンケート発送数等

発送数：	101 通	返送数：	64 通	回収率：	53%
クラス：	0歳児： 10 通	1歳児：	9 通	2歳児：	14 通
	3歳児： 8 通	4歳児：	5 通	5歳児：	8 通

4. 全体をとおして

家族へのアンケート回収率は53%でした。回答した家族が「保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか」では、66.7%が「満足」で、「どちらかと言えば満足」31.5%を合計すると98.2%が満足している状況です。

満足度は全体に高く、その中で特に高いのは、「子どもが戸外遊びを十分にしているかについて」79.6%、「クラスの活動や遊びについて」77.8%が「満足」と答えています。「どちらかと言えば満足」を含めると「クラスの活動や遊びについて」「子どもが戸外遊びを十分にしているかについて」では100%が満足状況（「満足」「どちらかと言えば満足」の合算）です。

また、「不満」の項目では、「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」で「不満」が7.4%あり、どちらかといえば不満」を含めると25.9%が不満を感じています。

アンケートの自由記述欄には、多くの感謝の意見の他に「不審者侵入を心配」「セキュリティが不安」の複数意見があります。

「あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか」では13.0%が「知っている」であり、「まあ知っている」を含むと57.4%が知っている状況です。この知っている全員が、その目標や方針に賛同（「賛同できる」80.6%、「まあ賛同できる」19.4%）と回答しています。目標・方針の告知方法を工夫することにより、家族の賛同者が増えて、アンケート回収率の向上とともに、園と家族の協力により保育の質の向上も進むものと思われます。

□ アンケート結果

■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか

1 よく知っている	3 どちらともいえない	4 あまり知らない
2 まあ知っている		5 まったく知らない



1	2	3	4	5	無回答
13.0%	44.4%	13.0%	27.8%	0.0%	1.9%

付問1 【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方】

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。

1 賛同できる	3 どちらともいえない	4 あまり賛同できない
2 まあ賛同できる		5 賛同できない

1	2	3	4	5	無回答
80.6%	19.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	40.7%	31.5%	1.9%	0.0%	22.2%	3.7%
その他: 見学していない、入園後に民営化されたため見学していない						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	40.7%	31.5%	9.3%	1.9%	13.0%	3.7%
その他: 入園後に民営化されたため情報提供、説明は受けていない						
園の目標や方針についての説明には	25.9%	53.7%	7.4%	0.0%	9.3%	3.7%
その他: 入園後に民営化されたためなかった						
お子さんの生育歴などを聞く対応には	25.9%	53.7%	7.4%	0.0%	9.3%	3.7%
その他: 入園後に民営化されたためなかった						
保育園での一日の過ごし方についての説明は	50.0%	29.6%	11.1%	0.0%	5.6%	3.7%
その他: 入園後に民営化されたためなかった						
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	37.0%	42.6%	5.6%	1.9%	9.3%	3.7%
その他: 入園後に民営化されたためなかった						

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	51.9%	37.0%	3.7%	3.7%	3.7%	0.0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	37.0%	42.6%	11.1%	0.0%	9.3%	0.0%
	その他:わからない					

問4 日常の保育内容について

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	79.6%	20.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	74.1%	22.2%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	72.2%	22.2%	3.7%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているかについては	66.7%	24.1%	7.4%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	61.1%	33.3%	1.9%	0.0%	3.7%	0.0%
	その他:わからない					

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	63.0%	31.5%	3.7%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	64.8%	31.5%	0.0%	0.0%	3.7%	0.0%
	その他:見ていないので何とも言えない					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	75.9%	22.2%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	59.3%	37.0%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	48.1%	24.1%	7.4%	3.7%	14.8%	1.9%
	その他:まだ時期ではない、実施していないので不明					
お子さんの体調への気配りについては	68.5%	27.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	55.6%	31.5%	9.3%	1.9%	1.9%	0.0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	44.4%	40.7%	5.6%	3.7%	3.7%	1.9%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	59.3%	38.9%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	38.9%	29.6%	18.5%	7.4%	5.6%	0.0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	48.1%	35.2%	11.1%	1.9%	3.7%	0.0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	42.6%	53.7%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	53.7%	35.2%	9.3%	1.9%	0.0%	0.0%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	50.0%	44.4%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	50.0%	33.3%	11.1%	3.7%	1.9%	0.0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	46.3%	44.4%	7.4%	0.0%	1.9%	0.0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	53.7%	40.7%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	57.4%	27.8%	9.3%	1.9%	3.7%	0.0%
	その他: そのような事がないため					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	61.1%	35.2%	1.9%	1.9%	0.0%	0.0%
その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	72.2%	22.2%	3.7%	0.0%	1.9%	0.0%
その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	40.7%	35.2%	0.0%	0.0%	20.4%	3.7%
その他:わからない						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	57.4%	33.3%	5.6%	1.9%	1.9%	0.0%
その他:						
意見や要望への対応については	53.7%	38.9%	3.7%	0.0%	3.7%	0.0%
その他:わからない						

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足しているか

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	66.7%	31.5%	1.9%	0.0%	0.0%

事業者コメント

記入日：平成27年2月吉日

事業者名：社会福祉法人 真澄児童福祉会 深見台保育園

今回の第三者評価受審は、深見台保育園として初めてのことであり、当法人としても初めての経験でした。25年度公立園から民間移管を受け2年が経とうとしています。法人の運営が始まった当初は、目の前に起こる様々な状況や運営者が変わることによる保護者の不安や心配からくる関心の高さ、いわゆる厳しい見方に全力をもって対応してきました。

保育内容はもちろんのこと、環境整備、保護者対応、職員全体のまとまり、気の抜けない日々の連続だったように思います。

2年目の保育が進み、子どもたち、保護者、職員間の連携も確実なものになりつつあるこの時期の受審は夢中で駆け抜けたこれまでの保育を振り返るために絶好の機会であったと思います。

自己評価、グループ評価をして、一つ一つ振り返る中で互いに感じている疑問や、本来されるべき説明やルール、マニュアルの周知度について不十分な点があることが見えてきました。

これらは「始まりを整える」取り組みに重点を置き、「ゆとりのなさ」から起きた大きな反省であると感じています。

この第三者評価受審の経験を活かし、整えられた始まり（基礎）を噛みくだいて全職員の知識とし、よりよい保育園運営ができるよう努力していきたいと思えます。

深見台保育園園長 都丸 里己

株式会社 フィールズ

〒251-0324 神奈川県藤沢市鵠沼橋 1-2-7 湘南リハウスビル 4 階
TEL/0466-29-9430 FAX/0466-29-2323

【深見台保育園】
福祉サービス第三者評価 <参考資料>

- ◆ 分類別評価結果の一覧
- ◆ 評価結果比較
- ◆ 家族アンケート自由記述・集計表
- ◆ 家族アンケート集計結果分析

分類別評価結果の一覧

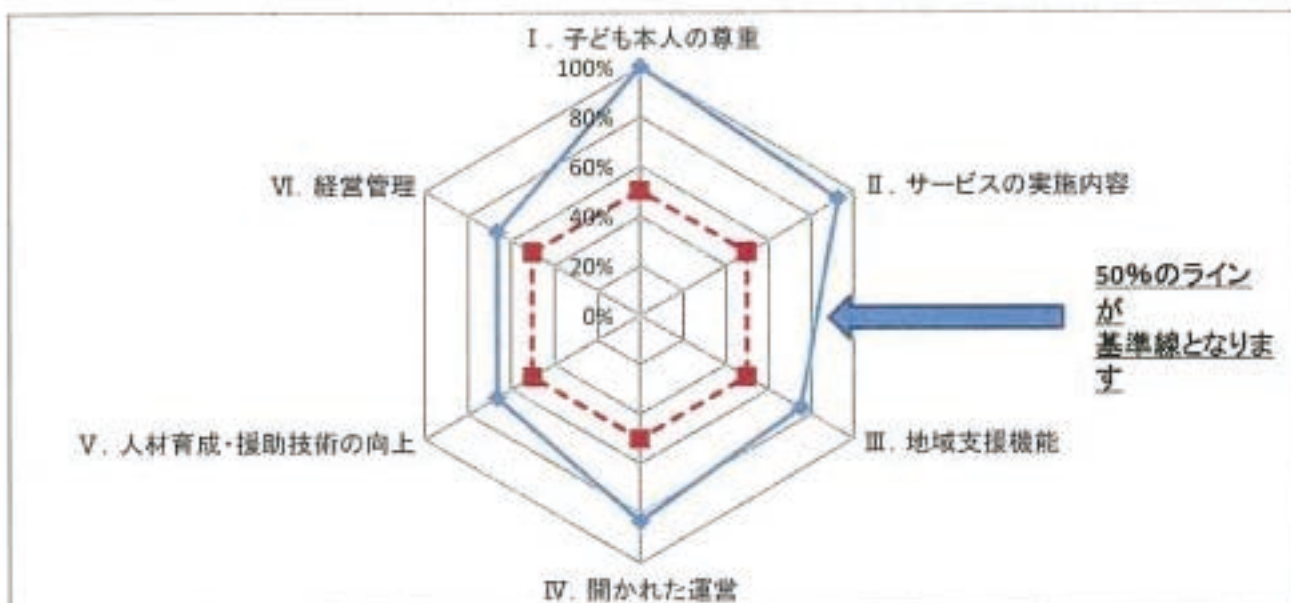
	😊😊😊	😊😊	😊
I. 子ども本人の尊重	6		
II. サービスの実施内容	6	1	
III. 地域支援機能	1	1	
IV. 開かれた運営	2	1	
V. 人材育成・援助技術の向上	1	2	
VI. 経営管理	1	2	

分類別評価結果の大項目 I～VIに「ひょう太」が3つの項目、2つの項目、1つの項目、それぞれ何項目あったかを表しています。

分類別評価結果の分析・グラフ

	小項目数	点	割合
I. 子ども本人の尊重	6	6	100%
II. サービスの実施内容	7	6.5	93%
III. 地域支援機能	2	1.5	75%
IV. 開かれた運営	3	2.5	83%
V. 人材育成・援助技術の向上	3	2	67%
VI. 経営管理	3	2	67%

I～VIそれぞれに含まれる項目数が「小項目数」、それに、ひょう太3つ=1点、2つ=0.5点、1つ=0点と換算したものを掛けたものが「点」、割合は大項目に含まれる小項目すべてが「ひょう太3つ」の場合を100%としたものです。



評価結果比較（深見台保育園）

（評価分類のABC評価は評価項目から算出）

評価領域・評価項目	内容	自己評価	第三者評価
評価領域Ⅰ	利用者本人（子ども本人）の尊重		
評価分類Ⅰ-1	保育方針の共通理解と保育課程等の作成	B	A
評価項目Ⅰ-1-1 (1)	保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。	B	A
評価項目Ⅰ-1-2 (2)	保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。	B	B
評価項目Ⅰ-1-3 (3)	日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。	A	A
評価分類Ⅰ-2	子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	B	A
評価項目Ⅰ-2-1 (1)	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。	A	A
評価項目Ⅰ-2-2 (2)	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。	B	B
評価項目Ⅰ-2-3 (3)	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。	B	A
評価分類Ⅰ-3	快適な施設環境の確保	A	A
評価項目Ⅰ-3-1 (1)	子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。	A	A
評価項目Ⅰ-3-2 (2)	沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。	A	A
評価項目Ⅰ-3-3 (3)	子どもの発達に応じた環境が確保されているか。	A	A
評価分類Ⅰ-4	一人一人の子どもに個別に対応する努力	B	A
評価項目Ⅰ-4-1 (1)	子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。	B	A
評価項目Ⅰ-4-2 (2)	子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。	A	A
評価分類Ⅰ-5	保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	B	A
評価項目Ⅰ-5-1 (1)	特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。	A	A
評価項目Ⅰ-5-2 (2)	障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。	B	A
評価項目Ⅰ-5-3 (3)	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。	B	A
評価項目Ⅰ-5-4 (4)	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができてきているか。	B	A
評価項目Ⅰ-5-5 (5)	外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して配慮がされているか。	B	A

評価領域-評価項目	内容	自己評価	第三者評価
評価分類Ⅰ-6	苦情解決体制	B	A
評価項目Ⅰ-6-(1)	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。	B	A
評価項目Ⅰ-6-(2)	要望や苦情を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。	B	A
評価領域Ⅱ	サービスの実施内容		
評価分類Ⅱ-1	保育内容（遊び）	A	A
評価項目Ⅱ-1-(1)	子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができていますか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(2)	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(3)	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(4)	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(5)	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(6)	積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。	A	A
	保育内容（生活）	A	A
評価項目Ⅱ-1-(7)	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(8)	食事の場、食材、食器等に配慮しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(9)	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(10)	子どもの食生活について、家庭と連携しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(11)	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-1-(12)	排泄は個人差がある事を十分に配慮して対応しているか。	A	A
評価分類Ⅱ-2	健康管理・衛生管理・安全管理		
	（健康管理）	A	A
評価項目Ⅱ-2-(1)	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	B	B
評価項目Ⅱ-2-(2)	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。	A	A
評価項目Ⅱ-2-(3)	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	A
	（衛生管理）	B	B
評価項目Ⅱ-2-(4)	衛生管理が適切に行われているか。	B	B

評価領域—評価項目	内容	自己評価	第三者評価
	(安全管理)	B	A
評価項目Ⅱ-2-(5)	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されている。	B	B
評価項目Ⅱ-2-(6)	事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-2-(7)	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	B	A
評価分類Ⅱ-3	人権の尊重	B	A
評価項目Ⅱ-3-(1)	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-3-(2)	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	B	A
評価項目Ⅱ-3-(3)	個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。	B	B
評価項目Ⅱ-3-(4)	性差への先入観による役割分担意識を植え付けないよう配慮しているか。	B	A
評価分類Ⅱ-4	保護者との交流・連携	A	A
評価項目Ⅱ-4-(1)	保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力している。	A	A
評価項目Ⅱ-4-(2)	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等をおこなっている。	A	A
評価項目Ⅱ-4-(3)	保護者の相談に応じているか。	A	A
評価項目Ⅱ-4-(4)	保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。	A	A
評価項目Ⅱ-4-(5)	保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。	A	A
評価項目Ⅱ-4-(6)	保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。	B	B
評価領域Ⅲ	地域支援機能		
評価分類Ⅲ-1	地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供	B	B
評価項目Ⅲ-1-(1)	地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。	B	A
評価項目Ⅲ-1-(2)	地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。	B	B
評価分類Ⅲ-2	保育所の専門性を活かした相談機能	B	A
評価項目Ⅲ-2-(1)	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	A
評価項目Ⅲ-2-(2)	相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。	B	A

評価領域-評価項目	内容	自己評価	第三者評価
評価領域Ⅳ	開かれた運営		
評価分類Ⅳ-1	保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ	A	A
評価項目Ⅳ-1-(1)	保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。	A	A
評価項目Ⅳ-1-(2)	子どもと地域との交流により、子どもとの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	A
評価分類Ⅳ-2	サービス内容等に関する情報提供	B	A
評価項目Ⅳ-2-(1)	将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。	B	A
評価項目Ⅳ-2-(2)	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	A
評価分類Ⅳ-3	ボランティア・実習の受け入れ	B	B
評価項目Ⅳ-3-(1)	ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。	B	B
評価項目Ⅳ-3-(2)	実習生の受け入れを適切に行っているか。	B	B
評価領域Ⅴ	人材育成・援助技術の向上		
評価分類Ⅴ-1	職員の人材育成	B	A
評価項目Ⅴ-1-(1)	保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	B	A
評価項目Ⅴ-1-(2)	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	B	B
評価項目Ⅴ-1-(3)	非常勤職員等にも日常の指導を行っているか。	B	A
評価分類Ⅴ-2	職員の技術の向上	C	B
評価項目Ⅴ-2-(1)	職員のスキルの段階にあわせて計画的に職員の技術の向上に取り組んでいるか。	C	B
評価項目Ⅴ-2-(2)	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	C	A
評価項目Ⅴ-2-(3)	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	B	B
評価分類Ⅴ-3	職員のモチベーションの維持	B	B
評価項目Ⅴ-3-(1)	本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。	B	B
評価領域Ⅵ	経営管理		
評価分類Ⅵ-1	経営における社会的責任	B	A
評価項目Ⅵ-1-(1)	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	B	A
評価項目Ⅵ-1-(2)	サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。	B	A

評価領域・評価項目	内容	自己評価	第三者評価
評価分類Ⅵ-2	施設長のリーダーシップ・主任の役割等	B	B
評価項目Ⅵ-2-(1)	保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。	B	B
評価項目Ⅵ-2-(2)	重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。	B	A
評価項目Ⅵ-2-(3)	主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。	B	B
評価分類Ⅵ-3	効率的な運営	C	B
評価項目Ⅵ-3-(1)	外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。	B	B
評価項目Ⅵ-3-(2)	保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を設定しているか。	C	B

評価分類

Aの数	6	17
Bの数	16	7
Cの数	2	0
	24	24

評価項目

Aの数	32	53
Bの数	36	18
Cの数	3	0
	71	71

家族アンケート自由記入欄

施設への要望などがあれば、自由にご記入ください。	
1	・ とても良くしていただいて満足です。今後とも宜しくお願い致します。
2	・ 子どもをのびのび育てて頂いて有難い。あとは、小学校に上がるときに違和感が少ないように教師主体の時間を充実させてほしい。(教育というより指導されることに慣れさせる)
3	・ 最近是不審者等の事件も多く、子どもを持つ親としてはとても心配している。そのような点(セキュリティ面)において深見台保育園は整っている、安心しては言い難いが、その分先生の目が機能していると感じた事もありますし、それを期待しています。
4	・ 全体的には、本当に心ある良い先生方がたくさんいて先生方の心で子ども達の保育、見守りを感じていますし、先生方の努力のおかげで子ども達もすこやかにのびのびと育っていると感じています。親も行事など楽しませて頂いており、有難く感じています。
5	・ 1階の雨の日の出入りについて、対策をしていただけると嬉しいです。子どもの靴下もびしょ濡れになってしまうこともあるし、親の迎えの時も靴を脱ぐのを躊躇してしまっているのが本音です。雑巾を準備して下さっていることに感謝していますが、それよりも対策をお願いしたいです。
6	・ 耐震面が不安です。
7	・ 昼寝は子どもが眠れなくても特に個別に対応はありません
8	・ 門に鍵はありますがすぐに空き、誰でも入れそうです。
9	・ 大切な子どもを預けているので、セキュリティ面、安全面に関しては十分に配慮して頂きたいです。
10	・ 民営化になることに心配や不安もありましたが、子どもも特に変わりなくむしろすごく楽しんでいる様で大変うれしく思います。今回の運動会も内容をすごく考えていて親子で楽しめました。園も古いので少しずつ修繕して頂けたらよいと思います。
11	・ 一部の保育者ですが、子どもに対してイライラした態度や迂闊な表情を見せています。どんな仕事でもイヤなことはありますが、常識的にも対人マナーとしてそれを見せることはありません。子どもも思っただけを緩めすぎているのか、非常識なのかと感じます。気をつけて頂きたい。
12	・ インターフォン対応にして欲しい。セキュリティ面が危なくて心配です。現在の状況では誰でも入れてしまう。
13	・ 施設面、先生方の熱意や愛情が伝わり全体的にも満足しています。先日の運動会ではその完成がすばらしく感度しました。これからも地域の方々との交流、異年齢交流なども大切にしていきたいながら、今のように子ども達をのびのびと保育していただけたらと思います。
14	・ 他の保育園のように、英会話やリトミックの時間を設けて頂きたいです。(希望者のみ、有料でもOKです)仕事を平日にしているので子どもに習い事をさせにくいのが今の切実な悩みです。
15	・ 門の開閉が誰でもできてしまうのでセキュリティ面が心配。

施設への要望などがあれば、自由にご記入ください。	
16	・ トイレが古い
17	・ 子どもが毎日楽しそうに通っておりとても満足しています。個人面談の際にたくさん相談にのって頂き安心してできました。
18	・ シフト制の仕事なので、自分の休みも午前中だけで良いので預けられるようにして欲しい。母が休み＝子どもも休みのようになっている。
19	・ どんな些細なことでも子どもについて教えてほしい。マット運動のような遊びをしてほしい。おやつを手作りのものにしてほしい。習い事は大和市からダメと言われたとのことだが何か出来ることはないのでしょうか。
20	・ 毎日子どもが楽しそうに過ごしているなので、少し遅くても深見台保育園を選んで良かったと思っています。先生方は皆さん明るく元気で好感が持てます。
21	・ 学習への取り組みがなされていない。低年齢の時はそれで十分であろうが、就学前にはもう少し体制をとっていただけると助かります。
22	・ 絵だけではなく、工作など手先を使う遊びを増やしてほしい。跳び箱や、鉄棒など通年で行って、運動が苦手な子ども、出来る様になる達成感を味わい、自身がつくような運動遊びを増やして欲しい。
23	・ 民営化になって二年目、園長先生や他の先生がとても頑張っている姿に心打たれます。有難うございます。
24	・ 普段から本当に良くして下さり有難うございます。引き渡しの際に子どもの様子をもう少しだけ時間を使って教えて頂きたいです。
25	・ 民間への移行後も今までの理念や方針を引き継いでくださり、とにかく子ども達元氣いっぱい姿を見ることができて感謝しています。時には厳しくしかる姿なども見かけることがあり集団生活の中でしっかりけじめをつけてくれていることも感じます。今後も今までのよさを活かしつつ新しいアイデアなども出して頂き良い環境を作って頂きたいと思います。
26	・ いつも本当に良くしていただき、感謝しています。親だけではあんな色々な経験や楽しさを与えきれないと思うので子どもにとってはとても良かったと思います。職員の方々も皆さん信頼できる方ばかりで安心して預けられます。
27	・ 園長先生をはじめ先生方が子ども達を一生懸命保育して頂いていると日々感じています。民営化になり、はじめのころは不安でしたが今は本当に現状の深見台保育園に満足しています。
28	・ 昨年度習い事を保育園でという話があったが反対です。保育園は仕事に預かってもらう場所で習い事の世話までしてもらう必要はないと思っています。習い事をさせたい人は自分で考えるべきだし、無理なら諦めるべきです。空き部屋を貸すといっても人の出入りが多くなったり、管理の面、安全のことを考えてもやらないかいいけないことだと思います。それよりも保育園の先生方が日頃からみていてくれて子ども達が楽しく過ごせていることが大切だと思います。
29	・ いつも丁寧な対応をして頂き感謝しています。子どもも安心して保育園に行っています。行事は手作りで先生方のご苦勞を感じますし、とても楽しませて頂いています。残り半年の保育園生活ですがこれからも宜しくお願い致します。
30	・ 民営化になってから保育園でできることが広がったと思う。保護者の意見をよく聞いてくれている。少しの要望にも耳を傾けてくれているのがわかります。子どものことも大切にしてくれているのが伝わり、一人一人の出来ることを伸ばして誉めてくれ、子どもの自信を育ててくれる。

施設への要望などがあれば、自由にご記入ください。	
01	。 男性の先生が多いので安心。不審者対策をすぐとってくれる。
02	。 もっと行事が多くても良い
03	。 体操教室や英語なども保育時間内でやってもらえたら良い
04	。 母親のリフレッシュのため、仕事がお休みでも保育園に預けられる日を設けてほしい。
05	。 保育園で習い事ができるようにしてほしい。習い事の計画が白紙になってしまいとても残念です。
06	。 外遊びの後に手洗いをさせないで水分補給をさせていたのには驚きました。当然の生活習慣なのでそういったことはきっちり教育して頂きたいです。
07	。 アンケートを書いている気がつきましたが、「給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣・自立の取り組み」など日々子どもがどのように過ごしているか説明がほとんどないのでわからない事が多いです。お迎えに行く際に親は毎日子どもがどのように園で過ごしたのか大変気がかりです。ケガなど変化のある時は説明がありますが、その他はほとんど説明がなく、ノートで過ごした様子を読み取っています。そこは不満です。
08	。 民営化して2年間は公立の時と同様にといいことで、それに頼りそれに責任転嫁していることがあるように感じる。
09	。 とてもいい保育園です。安心して子どもを預けて仕事できています。

家族アンケート集計表

■ 保育目標・方針の認知度 ■

よく知っている	13%
まあ知っている	44%
どちらともいえない	13%
あまり知らない	28%
まったく知らない	0%
無回答	2%

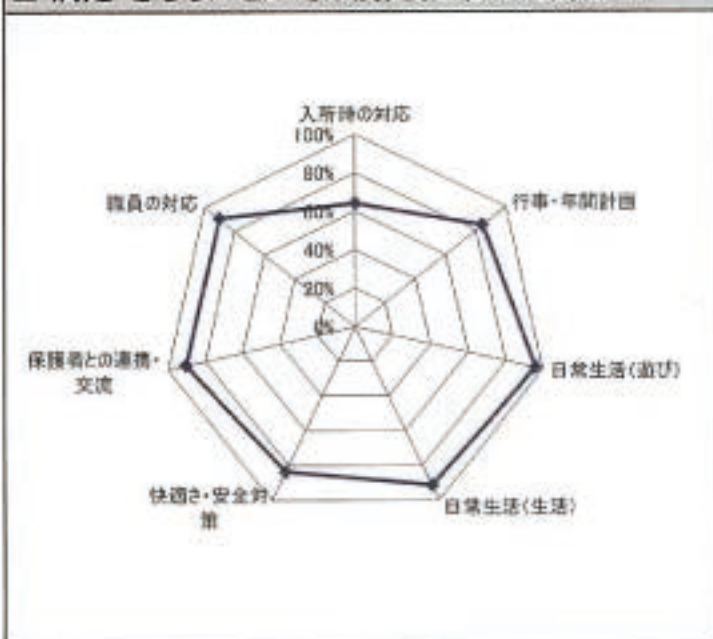
- 賛同できる
- まあ賛同できる
- どちらともいえない
- あまり賛同できない
- 賛同できない
- 無回答



■ サービス内容についての満足度 ■

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
入所時の対応	31%	33%	6%	0%	10%	3%
行事・年間計画	44%	40%	7%	2%	6%	0%
日常生活(遊び)	72%	24%	3%	0%	1%	0%
日常生活(生活)	62%	29%	4%	1%	3%	0%
快適さ・安全対策	48%	36%	9%	4%	3%	0%
保護者との連携・交流	51%	40%	7%	1%	1%	0%
職員の対応	57%	33%	3%	1%	6%	1%

■ 満足・どちらかといえば満足、と答えた割合 ■



■ 総合満足度 ■

満足	67%
どちらかといえば満足	31%
どちらかといえば不満	2%
不満	0%
無回答	0%



- 満足
- どちらかといえば満足
- どちらかといえば不満
- 不満
- 無回答

利用者家族アンケート 集計結果分析

家族アンケート問8 総合満足度で満足（66.7%）と回答した家族の方の各設問の状況

満足 ■ どちらかといえば満足 ■ どちらかといえば不満 ■ 不満 ■ その他 ■ 無回答 ■

問2 入園時の状況

見学の受け入れについて

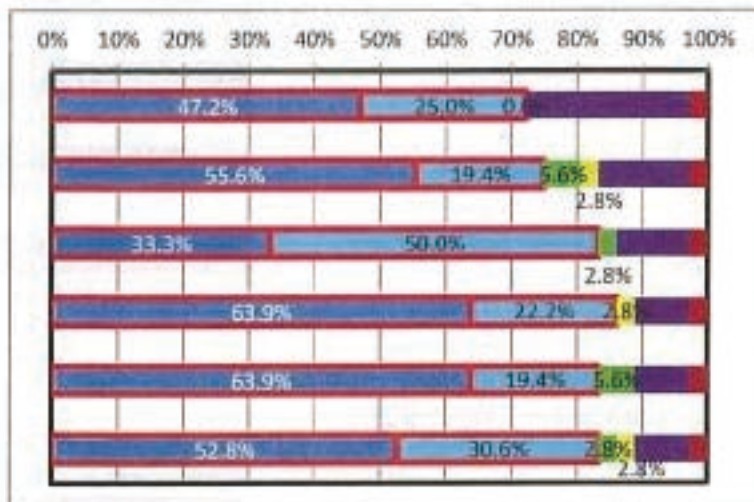
入園前の見学、説明など情報提供について

園の目標・方針の説明には

お子さんの生育歴などを聞く対応には

保育園での1日の過ごし方の説明は

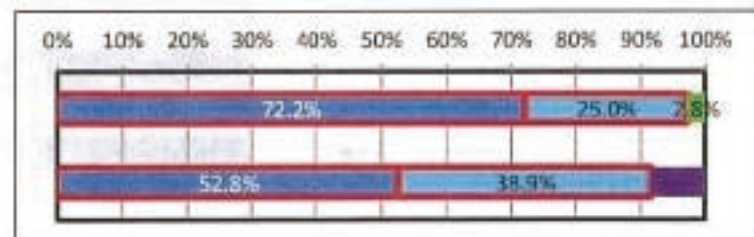
費用やさまりの説明には（入園後食い違いがなかったか）



問3 園の年間の計画について

年間の保育や行事の説明には

年間の保育や行事に要望がいかされているか



問4 保育内容について(遊び)

クラス活動や遊びについては

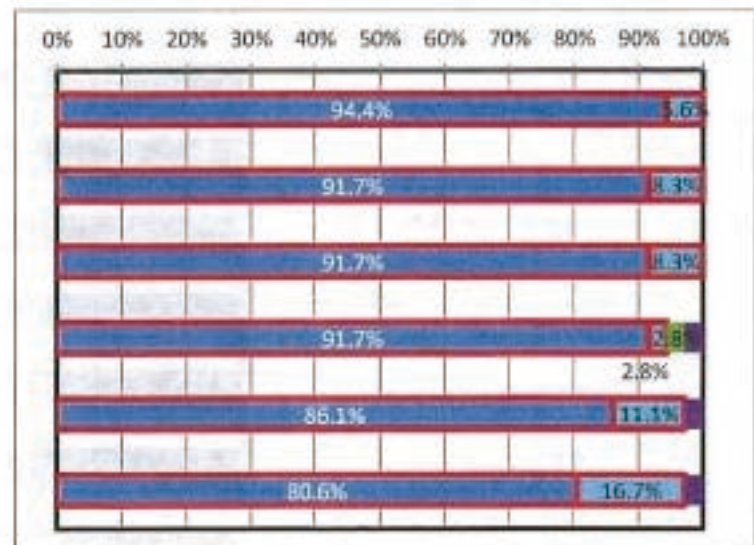
戸外遊びを十分にしているかについて

園のおもちゃや教材については

自然に触れたり地域に関わるなど、園外活動について

遊びを通じ友だちや保育士との関わりが十分にもっているかについて

遊びを通じた健康づくりへの取り組みについては



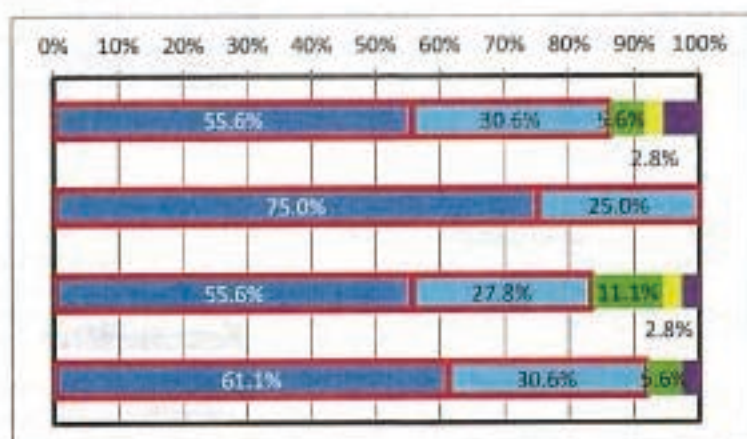
問4 保育内容について(生活)

- 給食の献立内容については
- 給食を楽しんでいるかについて
- 基本的な生活習慣の自立に向けての取り組みには
- 昼寝や休憩が状況に応じて対応されているかなどについては
- おむつはずしは家庭と協力し、成長に合わせて柔軟に行われているかについて
- お子さんの体調への気配りについて
- 保育中にあったケガに関する説明やその後の対応には



問5 快適さや安全対策について

- 施設設備については
- 落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについて
- 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については
- 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については



問6 園と保護者との連携・交流

- 保護者懇談会や個別面談など、話し合いの機会については
- 園の様子や行事に関する情報提供について
- 行事の開催日や時間帯への配慮について
- 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報提供について
- お子さんの重要な情報の連絡体制について
- 保護者からの相談への対応には
- 送迎などで迎えが遅くなる場合の柔軟な対応について



問7 職員の対応について

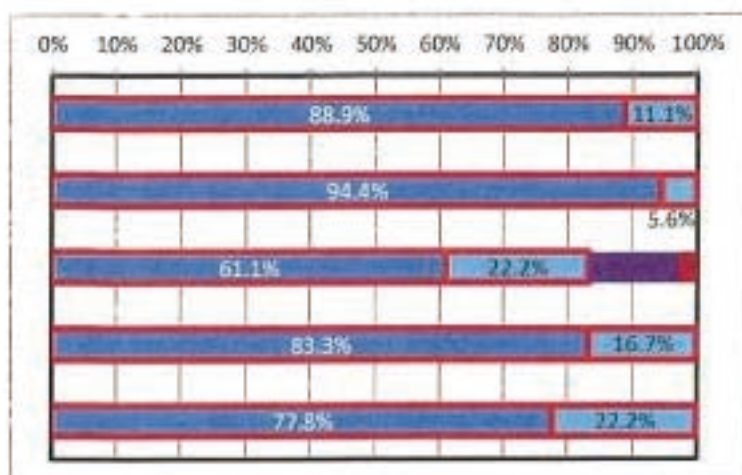
あなたのお子さんが大切にされている

あなたのお子さんが保育園を楽しんでいるかには

アレルギーや障害のあるお子さんへの配慮については

話しやすい雰囲気、態度であるかどうか

意見や要望への対応については



総合満足度で「満足」と回答した66.7%の家族は以下の項目で特に満足しています。

1位「クラス活動や遊びについては」、「あなたのお子さんが保育園を楽しんでいるかには」で94.4%が「満足」しています。続いて「戶外遊びを十分にしているかについては」、「園のおもちゃや教材については」、「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動については」で91.7%となっており、全体として「保育内容について（遊び）」の項目に関しては、「どちらかといえば不満」、「不満」の割合も少なく「満足」の割合が高く総合的に見て高い満足度となっています。

Faint table with multiple rows and columns, possibly a ledger or data table.

Faint text or list of items, possibly a table of contents or index.

Faint text or signature area, possibly a header or footer.

株式会社 フィールズ

F201-0024 神奈川県藤沢市調沼橋 1-2-7 湘南リハウスビル 4 階
TEL/0466-29-9430 FAX/0466-29-2323